

令和5年度 高知市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和6年5月

高知市（高知県）

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和5年3月に計画の認定を受け、「暮らす・働く・訪れ遊ぶ 魅力共創の『おまち』へ」を目指し、認定基本計画に登載のハード・ソフトあわせて58事業を実施している。

ハード面では、令和5年度末に藤並公園の再整備、令和5年11月に商業店舗と共同住宅の複合施設である「ビ・ウェル追手筋」が竣工するなど、居住環境の整備が順調に進捗しており、目標指標である「中心市街地の居住人口」は目標値に近い数値で推移しており、令和6年度には横堀公園の再整備のほか、オーテピア西敷地の整備を検討中であるなど、居住環境の向上による更なる中心市街地の人口増加が期待される。

ソフト面では、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症区分が季節性インフルエンザと同じ5類に移行されたことを契機に、「よさこい祭り」が4年ぶりに通常開催されたほか、クルーズ客船の寄港回数が過去最多記録を達成、NHK連続テレビ小説「らんまん」の放送により牧野富太郎博士にゆかりのあるイベントが各地で開催されるなど、高知県内の令和5年の県外観光客数の過去最多記録約472万人の更新にも寄与した。こうした観光面での追い風を受けつつ、これまで中心市街地のにぎわい創出に貢献してきた大道芸フェス、土曜夜市等のイベントの開催や、ナイトタイムエコノミー事業としてクリスマスマーケット、高知城花回廊などの夜間イベントの実施、令和5年度末に整備された丸ノ内緑地でのイベント活用など、中心市街地は新型コロナウイルス感染症拡大前の活気を取り戻しつつある。

以上の取組により、目標指標に対する令和5年度の達成状況は、「中心市街地の居住人口」はマンション整備等が順調に進捗し、目標値5,776人に対し実績値5,755人と、目標値と同程度の数値となっている。「中心市街地の歩行者通行量」は110,198人と目標達成とはならなかったが、令和3年度以降増加傾向にあることから、引き続き状況を注視しつつ行政、商店街、民間事業者等が連携して中心市街地のまちづくりに取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口 (基準日：毎年度1月1日) 単位：人

(中心市街地地域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)
人口	5,767	5,796
人口増減数	226	29
自然増減数	-60	-79
社会増減数	287	114
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-1	-6
転入者数	692	522

(データ：住民基本台帳)

(2) 店舗数 (基準月：毎年12月)

(中心市街地地域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)
中心市街地全体	547	544
はりまや橋商店街	38	35
京町・新京橋商店街	48	49
壱番街商店街	32	31
帯屋町一丁目商店街	86	87
帯屋町二丁目商店街	45	46
おびさんロード商店街	45	46
中の橋商店街	50	47
柳町商店街	64	65
大橋通り商店街	36	36
魚の棚商店街	18	20
天神橋通商店街	31	31
菜園場商店街	54	50
升形商店街	36	37

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市，高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため，中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

(3) 地価

(基準日：毎年度1月1日) 単位：円

(中心市街地地域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)
中心市街地全地点の平均	188,500	189,750
本町1丁目29番外	251,000	254,000
廿代町318番	134,000	133,000
升形52番	141,000	140,000
本町2丁目104番	158,000	160,000
はりまや町1丁目108番(※)	216,000	217,000
帯屋町1丁目170番外	260,000	265,000
はりまや町1丁目333番1外	180,000	181,000
本町5丁目52番	168,000	168,000

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※はりまや町1丁目108番の調査地点については、平成29年度までははりまや町3丁目76番、平成30年度から現地番

2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画における令和5年度の取組は、ハード事業については、中心市街地において、民間分譲マンションの建設が進んでいることに加え、藤並公園の再整備をはじめとする都市公園のリニューアルも順調に実施されていることから、中心市街地の居住人口は今後も堅調に推移することが期待される。

ソフト事業については、新型コロナウイルス感染症の感染症区分が5類に移行されたことに伴い、これまで中止又は規模縮小となっていたイベントが通常通り開催され、観光面でもNHK連続テレビ小説「らんまん」の放送や、クルーズ船の寄港数が過去最多を記録するなど、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ中心市街地の賑わいが戻りつつある。

一方、参考指標である「営業店舗数」や「新規出店数」は減少傾向にあり、背景には新型コロナウイルス感染症拡大による消費行動の変化や、インターネット通販の定着、物価高騰による消費抑制等が要因と推察される。

また、近年の物価高により国内の個人消費が停滞する中、インバウンド需要の回復は地域経済成長のけん引役となる可能性を秘めており、訪日外国人旅行者のニーズを捉えたサービスの提供を行うことで、中心市街地の更なる経済活力の向上に寄与すると考えられる。

以上を踏まえ、物価高騰や人口減少、DX推進等による社会の変化に対応し、引き続き中心市街地の活性化を官民が連携して取り組むことにより、地域経済における新たな需要や投資を喚起し、中心市街地の更なる活性化に向けたまちづくりが進捗することを期待する。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	今回の見通し
暮らすにも働くにも「ぼっち」なまち	中心市街地の居住人口	5,529人 (R3末)	5,776人 (R9末)	5,755人 (R5末)	B	①
	中心市街地の社会増減数 【参考指標1】	75人 (R3)	92人 (R9)	114人 (R5)	A	—
	中心市街地商店街の営業店舗数 【参考指標2】	552店舗 (R3)	571店舗 (R9)	544店舗 (R5)	C	—
	中心市街地の新規出店数 【参考指標3】	64店舗 (H29～R3累計)	85店舗 (R5～R9累計)	7店舗 (R5)	C	—
おまちなさる魅力向上と賑わいの回復	中心市街地の歩行者通行量 (17地点)	104,188人 (R3)	128,004人 (R9)	110,198人 (R5)	B	①
	拠点施設入館者数(4施設) 【参考指標1】	1,020,017人 (R3)	1,600,350人 (R9)	1,302,745人 (R5)	B	—
	中心市街地商店街の空き店舗率 【参考指標2】	15.8% (R3)	14.4% (R9)	15.7% (R5)	B	—
	宿泊者数 【参考指標3】	119万人泊 (R元)	127万人泊 (R9)	120万人泊 (R5)	B	—

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①：目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）

②：目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）

1：目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2：目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の居住人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載の事業以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成 29 年度以降概ね増加し続けている。令和 5 年度の最新値（調査日：4 月 1 日）は 5,755 人と、前年度の 5,807 人から減少したものの、令和 6 年度も民間分譲マンションの整備が予定されていることや、横堀公園の再整備のほか、オーテピア西敷地の整備が検討中であるなど、今後も居住環境の向上が期待できることから目標達成が見込まれる。

また歩行者通行量の令和 5 年度最新値は 110,198 人と目標値には達していないものの、令和 3 年度以降増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行によりソフト事業も順調に実施できていることから、目標達成は可能と見込まれる。

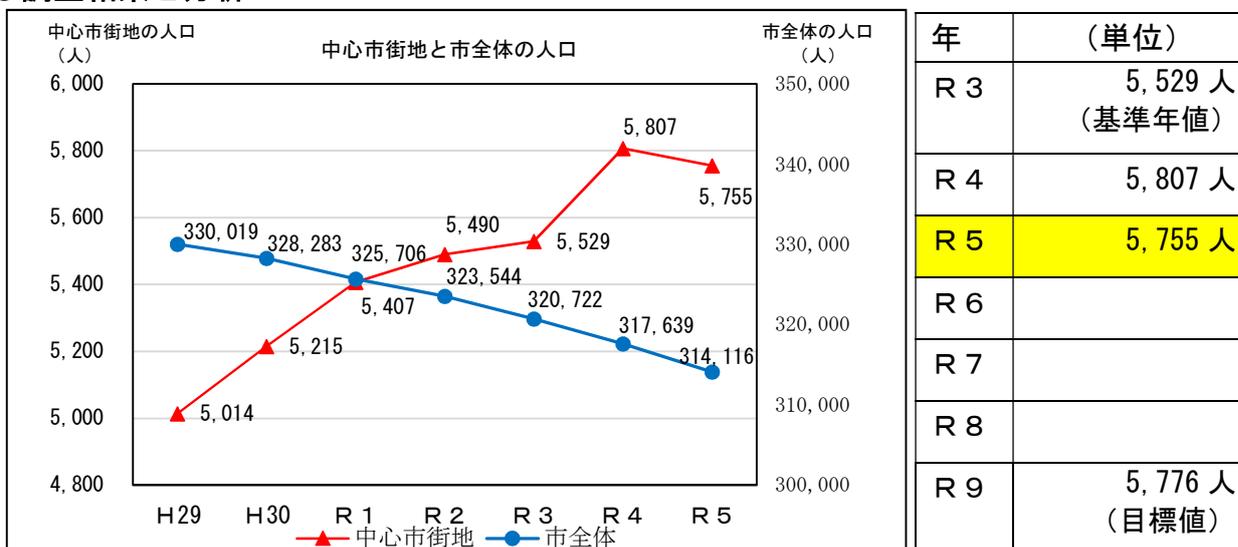
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地の居住人口」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P63～P64 参照

●調査結果と分析



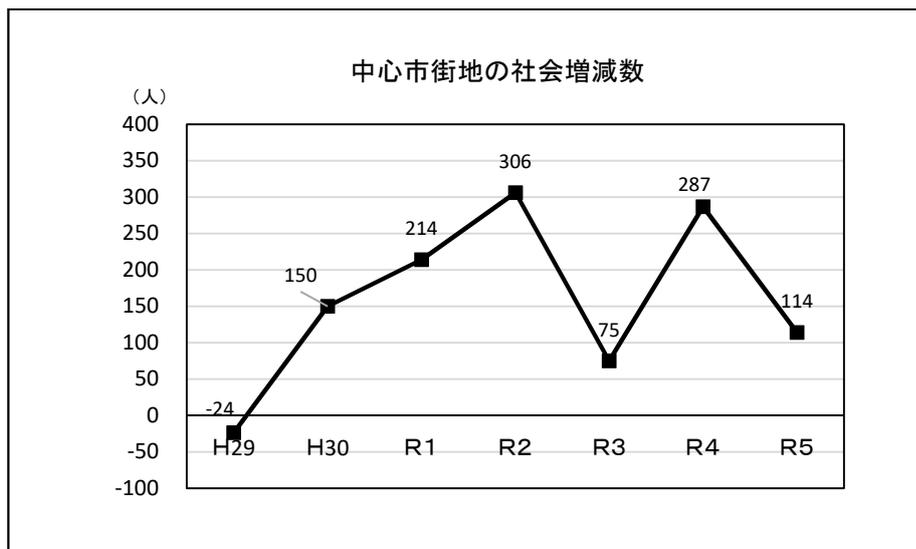
※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年 4 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

<参考指標 1> 中心市街地の社会増減数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P65 参照



年	(単位)
R 3	75 人 (基準年値)
R 4	287 人
R 5	114 人
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	92 人 (目標値)

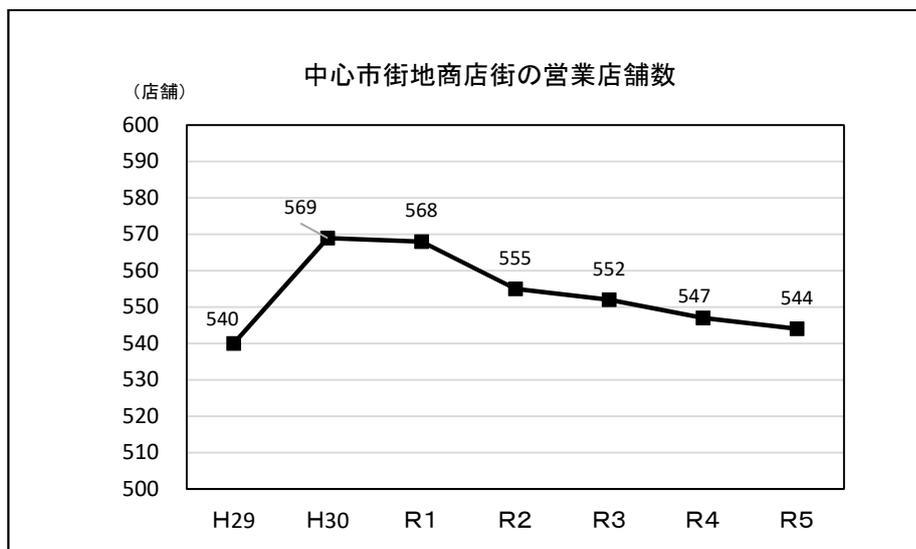
※調査方法：基本計画区域内の町別異動件数及び町別市内間異動件数

※調査月：毎年度 1 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内の転入数と転出数の差

<参考指標 2> 中心市街地商店街の営業店舗数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P66 参照



年	(単位)
R 3	552 店舗 (基準年値)
R 4	547 店舗
R 5	544 店舗
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	571 店舗 (目標値)

※調査方法：商店街の 18 区域において、毎年 12 月を目安に実施。

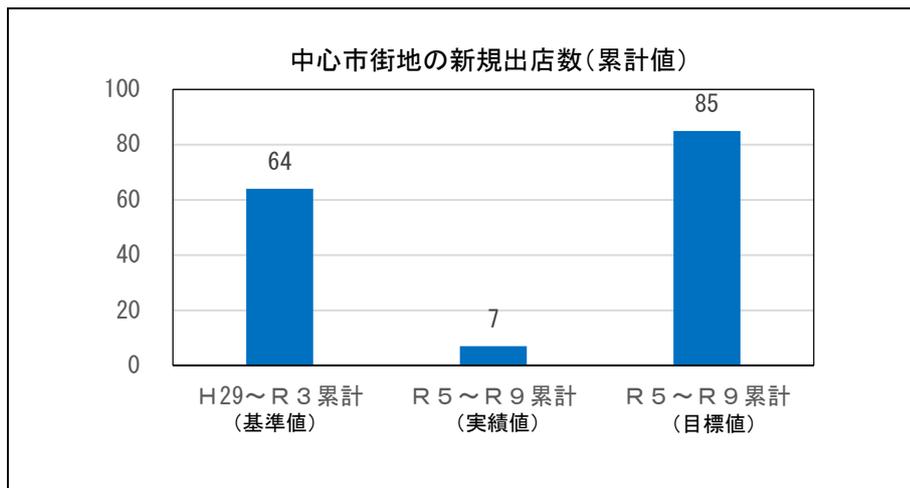
区域内の 1 階路面店を対象に空き店舗数、営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年 12 月

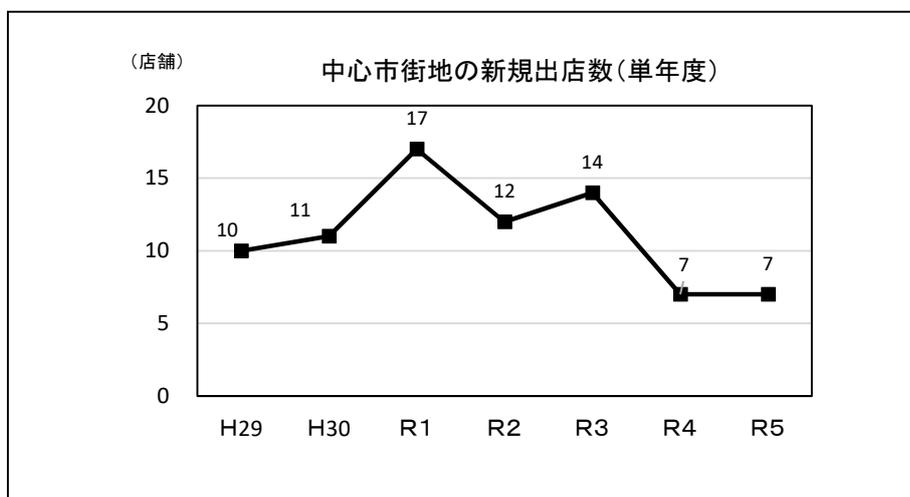
※調査主体：高知市，高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街，京町商店街，新京橋商店街，壱番街商店街，帯屋町一丁目商店街，帯屋町二丁目商店街，おびさんロード商店街，中の橋商店街，柳町商店街，大橋通り商店街，魚の棚商店街，天神橋通商店街，菜園場商店街，升形商店街）

<参考指標3> 中心市街地の新規出店数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P68 参照



年	(単位)
H29~ R3 累 計	64 店舗 (基準値)
R5~ R9 累 計	7 店舗 (実績値) 85 店舗 (目標値)



年	(単位)
R3	14 店舗
R4	7 店舗
R5	7 店舗
R6	
R7	
R8	
R9	

※調査方法：「空き店舗を活用した創業支援サポート事業」を活用し、中心市街地エリアに出店した店舗数を集計。

※調査月：令和5年度

※調査主体：高知市

※調査対象：中心市街地エリア（高知市空き店舗活用創業支援事業費補助金で定める中心商店街及び商店街を除く中心市街地）

<分析内容>

令和5年度の最新値（調査日：4月1日）における市全体の人口は314,116人と減少が続いているのに対し、中心市街地の居住人口は5,755人であり、令和4年度と比較し若干減少したものの、民間分譲マンションの建設が進んでいる事にも起因し目標値と同程度の数値となっている。

社会増減数についても令和4年度、令和5年度ともに目標値である95人を達成するなど人口面は堅調に推移しているが、営業店舗数と新規出店数は減少傾向が続いている。背景には新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるライフスタイルの変化、インターネット通販や在宅ワークの定着等による消費行動の変化が起因していると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 藤並公園整備事業（高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	来街者の憩いの場としての再整備の実施
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和 2 年度～令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年 3 月 22 日に整備工事が完了し、同日開放。来街者の憩いの場が整備されたことで、利便性及び回遊性の向上が期待される。 ・計画：公園整備による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

②. 空き店舗を活用した創業支援サポート事業（高知県，高知市，高知商工会議所）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業概要	中心市街地や商店街の空き店舗を活用して出店する新規創業者等への支援
事業目標値・最新値及び進捗状況	空き店舗を活用し中心市街地で新たに創業する出店者に対し店舗賃借料等を補助するとともに、令和 5 年度以降は移住者向けに仲介手数料の補助（令和 5 年度補助実績：14 件，うち移住者向け仲介手数料補助 4 件）も実施。 ・計画：多様な店舗の集積による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	引き続き商店街等の空き店舗を活用して新規出店する事業者を支援するとともに、各支援機関と連携しながら創業希望者が抱える課題の解決及び情報の共有を図る。

③. 「ビ・ウェル追手筋」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和 5 年度【済】
事業概要	追手筋一丁目地区における商業店舗と共同住宅の複合施設整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 5 年 11 月竣工。住居戸数 30 戸のマンションが整備されたことにより、追手筋一丁目地区の居住人口が増加。 ・計画：住居戸数 30 戸 48 人の居住人口増加見込み （1 戸あたり平均 1.61 人と仮定）
事業の今後につ	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活

いて	性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。
----	---------------------------

④. 「ビ・ウェル菜園場」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和5年度～令和6年度【実施中】
事業概要	菜園場町地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年2月下旬竣工，総戸数52戸整備予定。 ・計画：供給戸数52戸 84人の居住人口増加見込み（1戸あたり平均1.61人と仮定）
事業の今後について	中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

事業実施期間	平成27年度～令和9年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や，三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など，移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業目標値・最新値及び進捗状況	移住希望者を対象に，街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和5年度実績：9件）や，ホームページ・SNS等において，生活のしやすさ，利便性が高いことについて情報発信するとともに，三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援（令和5年度実績：10件），高知県内への二段階移住を考えている方に一段階目の移住・滞在場所となる高知市でのお試し移住費用等の補助（令和5年度実績：12件）などを実施した。また，よさこい移住支援として，関西圏の大学にてよさこい移住者によるトークイベントを実施した。 ・計画：県外からの移住組数のうち，中心市街地に居住する世帯割合と5年間の人口増を加味し，34人の居住者増加を見込む。
事業の今後について	引き続き，移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により，移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

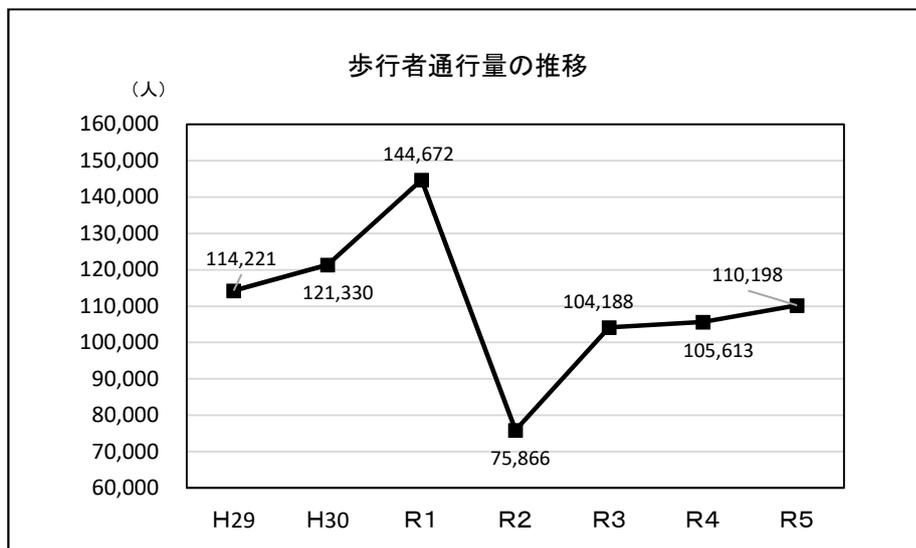
目標指標である中心市街地の居住人口については，主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや，計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることなどから，平成29年度以降概ね増加し続けている。令和5年度の最新値（調査日：4月1日）は5,755人と前年度から52人減少したものの，目標値5,776人と同程度の数値を維持している。令和6年度以降もマンション建設が予定されているため今後も居住人口が増加すると予測されることや，横堀公園の再整備のほか，オーテピア西敷地の整備が検討されているなどさら

なる居住環境の向上も期待できるため、目標達成可能と見込んでいる。

(2) 「歩行者通行量（17地点・冬季・平日休日2日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P70～P72 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
R 3	104,188 人 (基準年値)
R 4	105,613 人
R 5	110,198 人
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	128,004 人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内の17地点において、毎年12月の第3金曜日及び日曜日に実施。

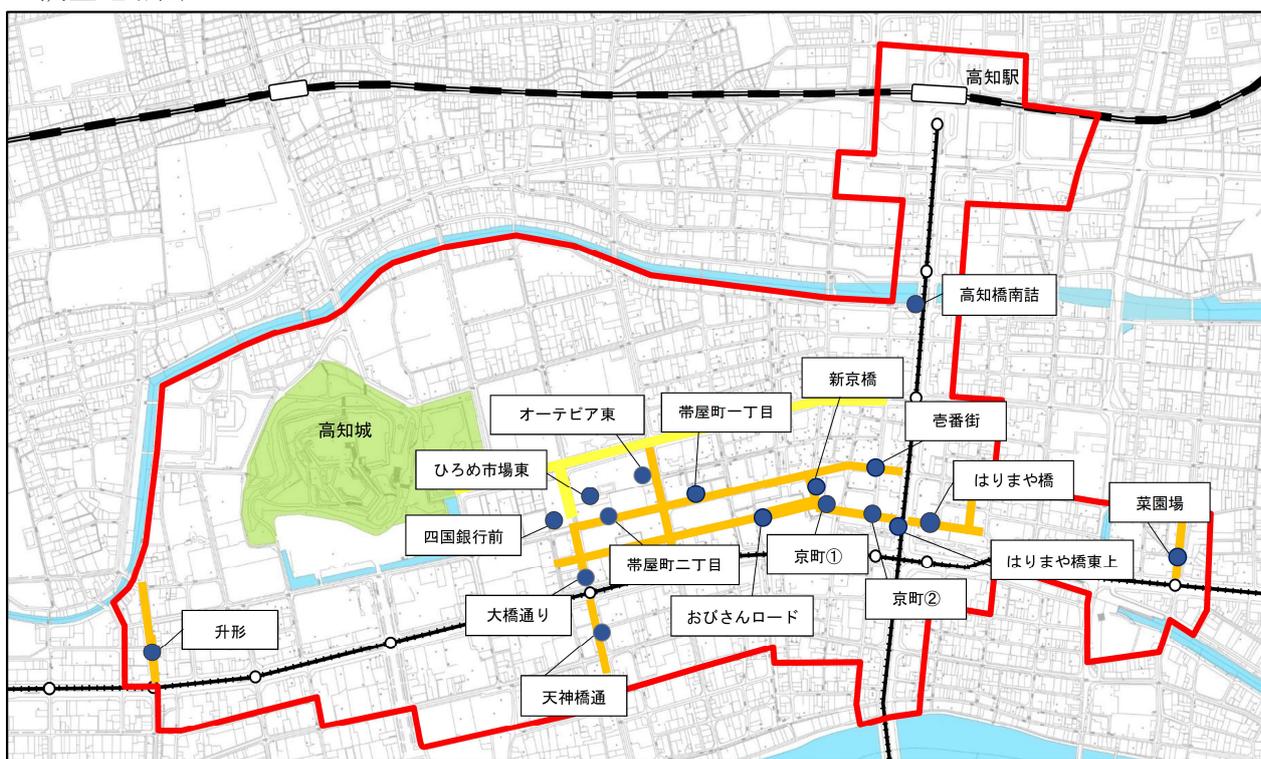
10時～18時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和5年12月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内17地点の歩行者

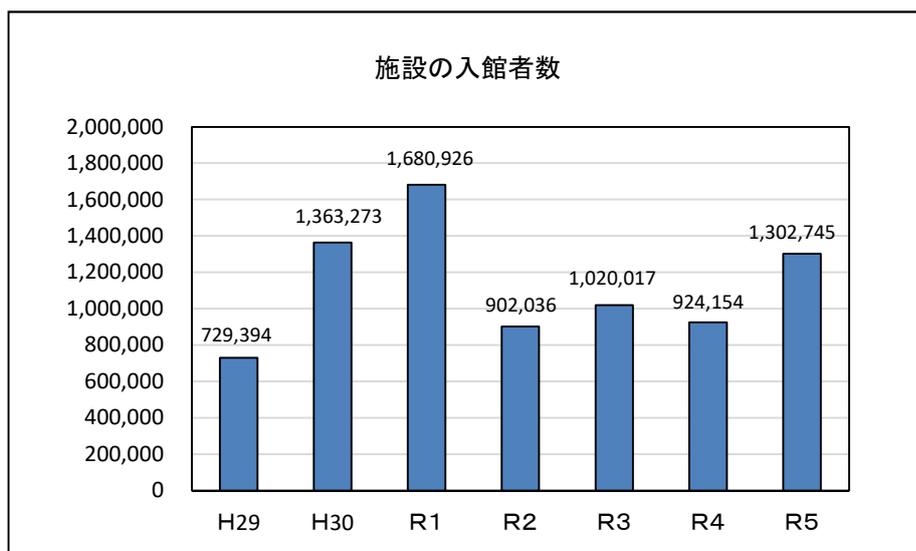
<調査地点図>



(単位：人)

	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)
大橋通り商店街	7,026	7,758
帯屋町二丁目商店街	16,869	18,204
帯屋町一丁目商店街	17,078	19,205
おびさんロード商店街	3,078	5,046
壱番街商店街	8,619	8,274
新京橋商店街	5,845	5,037
京町商店街①	5,367	4,770
京町商店街②	6,120	5,403
はりまや橋商店街	4,419	4,113
はりまや橋東上	3,429	2,922
菜園場商店街	1,176	1,080
升形商店街	1,314	1,239
天神橋通商店街	2,754	2,835
四国銀行帯屋町支店前	7,162	7,699
ひろめ市場東	7,312	7,476
オーテピア東	5,137	5,986
高知橋南詰	2,908	3,151
合計	105,613	110,198

<参考指標 1> 拠点施設入館者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P73~P74 参照



年	(単位)
R 3	1,020,017 人 (基準年値)
R 4	924,154 人
R 5	1,302,745 人
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	1,600,350 人 (目標値)

※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

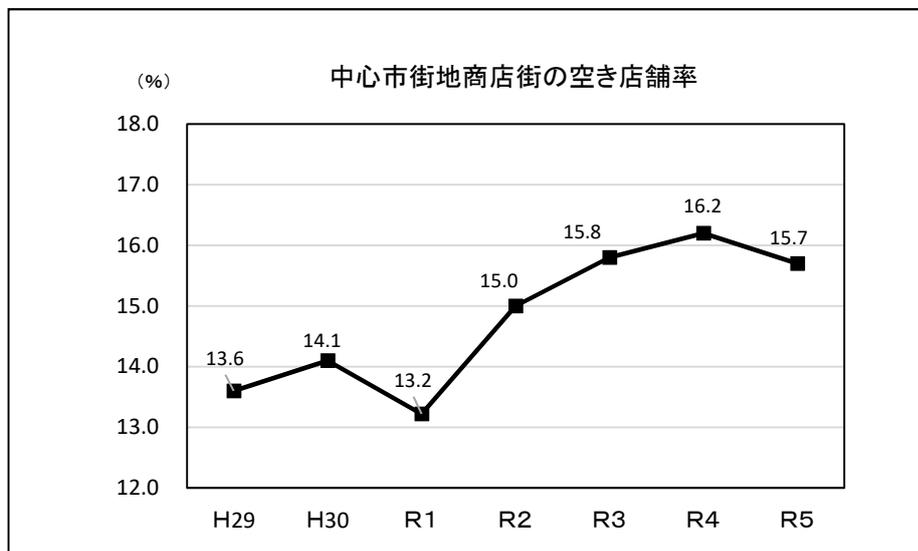
※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア，高知城歴史博物館，かるぽーと，高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため，3施設の入館者数の合計値）

<参考指標2> 中心市街地商店街の空き店舗率

※目標設定の考え方認定基本計画 P75 参照



年	(単位)
R 3	15.8% (基準年値)
R 4	16.2%
R 5	15.7%
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	14.4% (目標値)

※調査方法：商店街の18区域において，毎年12月を目安に実施。

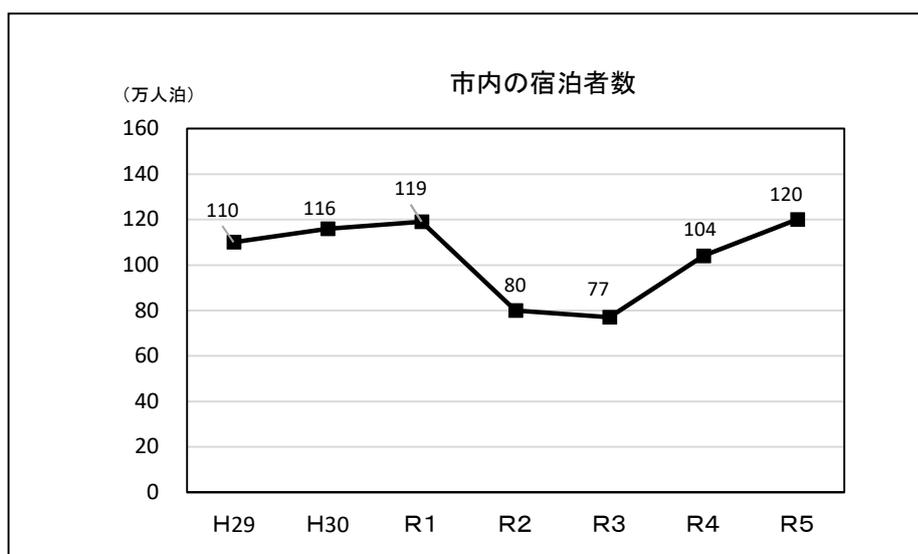
区域内の1階路面店を対象に空き店舗数，営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市，高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街，京町商店街，新京橋商店街，壱番街商店街，帯屋町一丁目商店街，帯屋町二丁目商店街，おびさんロード商店街，中の橋商店街，柳町商店街，大橋通り商店街，魚の棚商店街，天神橋通商店街，菜園場商店街，升形商店街）

<参考指標3> 宿泊者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P76 参照



年	(単位)
R元	119万人泊 (基準年値)
R 4	104万人泊
R 5	120万人泊
R 6	
R 7	
R 8	
R 9	127万人泊 (目標値)

※調査方法：観光庁「宿泊旅行統計調査」月別市区町村別集計 延べ宿泊者数（従業者数10人以上）

※調査月：各月

※調査主体：観光庁

※調査対象：従業者数10人以上の施設における市内宿泊者

〈分析内容〉

中心市街地では平成 27 年度に帯屋町チェントロ，平成 29 年度に高知城歴史博物館，平成 30 年度にオーテピアが整備され，新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い，令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と，本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。しかし，令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により来街者が大幅に減少し，平成 24 年度の調査開始以降最も低い数値となった。令和 3 年度以降は回復傾向にあるが，目標値まではいたっていない。拠点施設入館者数や宿泊者数についても，新型コロナウイルス感染症の拡大により，令和 2 年度は大きく減少したが，近年は新型コロナウイルス感染症の収束や NHK 連続テレビ小説「らんまん」の放送等による県外観光客の増加も一因となり，回復の兆しが見られる。空き店舗率は令和 4 年度と比較し改善がみられたものの，新規出店数が伸び悩んでおり目標値には届いていない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 高知大丸「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」の展開（高知大丸，高知市）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	高知大丸において地場産品等を提供する集客拠点を整備・運営するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」にて，高知市及びれんけい市町村の「れんけいブース」設置による地場産品等の展示販売，「チャレンジショップ」，「チャレンジキッチン」の設置による，販売場所の創出を図り，誘客促進事業として，牧野富太郎ギャラリーや，佐川おもちゃ美術館との連携による「こどものひろば」等を実施した。 ・計画：周辺商店街等（東エリア）の歩行者通行量が令和 9 年度推計値 26,039 人の歩行者通行量に対して 5%（1,302 人）増加見込み
事業の今後について	高知大丸，高知市，れんけいこうち広域都市圏の 33 市町村が連携し，イベントの開催や情報発信等を行うことで，新規事業者の育成や販売場所の創出を図り，新たな集客拠点として中心市街地の活性化につなげていく。

② オーテピア西敷地利活用事業（高知市，民間事業者）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	オーテピアに隣接する市有地を活用した中心市街地活性化事業を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値	当面の間，イベント開催等で中心市街地の賑わいを生み出すとともに

及び進捗状況	に、来街者が多目的に利用できるスペースとなるよう整備を検討中。 ・計画：西敷地周辺商店街（西エリア）の歩行者通行量が令和9年度推計値 67,691 人の歩行者通行量に対して5%（3,385 人）増加見込み
事業の今後について	イベント開催等が可能で多目的に市民が利用可能となるよう整備を実施する。

③ 商店街イベント事業（高知市，商店街）

事業実施期間	平成 25 年度～令和9年度【実施中】
事業概要	各商店街がそれぞれの特色を活かしたイベントを開催するもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街を会場にしたイベント（高知大道芸フェス，おびさんマルシェ，土曜夜市，龍馬生誕祭，イルミネーションフェスタ，クリスマスマーケット 等）を実施し，中心市街地の賑わい創出に寄与した。 ・計画：歩行者通行量が令和9年度推計値 98,361 人に対して5%（4,918 人）増加見込み
事業の今後について	引き続き各商店街がそれぞれの特性を生かしたイベントを実施していく。

④ シェアサイクル事業（高知市）

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるシェアサイクルの導入の検討及び実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例，都市公園の占用許可の特例（活用予定）（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年7月にオーテピア遊歩道ポートをオープンし，サイクルポート5か所で稼働した。当初想定した回転率を上回り，中心市街地の回遊性向上に寄与した。（R5回転率：0.49，当初想定：0.3） ・計画：1日あたり利用者数 30台×0.5（回転率目標値）=15人 15人×3か所×2日間（平日・休日）=90人増加見込み
事業の今後について	令和6年4月26日に6か所目となる「西鉄イン高知はりまや橋ポート」をオープン。利用者の利便性向上及び収益性向上を目指し，新規サイクルポート候補地の選定やネーミングライツの導入等を検討していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標指標である歩行者通行量について、新型コロナウイルス感染症の拡大により来街者数が大幅に減少した令和2年度と比較すると令和3年度以降は回復傾向にあるが、目標達成にはいたっていない。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、商店街や各拠点施設にて中止及び規模を縮小して開催していたイベントが通常開催されるようになっており、今後、中心市街地への来街者はさらに増加すると予測される。また、中心市街地の新たな集客拠点として整備された高知大丸「OMACHI360」や、中心市街地を回遊できるシェアサイクル事業、オーテピア西敷地利活用事業を展開していくことで、目標達成は可能と見込んでいる。